

《眼科臨床エキスパート》 所見から考えるぶどう膜炎

吉村長久, 後藤 浩, 谷原秀信, 天野史郎 シリーズ編集
園田康平, 後藤 浩 編

そもそもぶどう膜炎は難しい。というか勉強がしにくい。原因不明のぶどう膜炎がそのほとんどであるから難しいのだろうか。医局員時代、先輩にステロイドの使い方をこまごまと指導されたからとっつきにくくなってしまったのだろうか。だいたいステロイドの使い方を別の先輩に尋ねると必ず違った使い方を指示されたものだ。ゴールデンスタンダードがないんだ、この世界は。

と思っていたところ、この本が出版された。聡明な人たちが作った本は大変面白い、というのが読み終わっての正直な感想だ。

この本のお薦めポイントは特に総論に力を入れているところだろう。総論だけ読んでも十分面白い。総論だけで1万円くらいの価値がある。疾患別にばらばらに治療法を記載するでなく、特にステロイドの使い方など、ぶどう膜炎ならどれも同じだろう、くらいの感

じでバサッと総論でまとめているのがすがすがしい。その分、疾患別各論はのびのびと記述されており、読んでいてすっきり感がある。でもなかには大変珍しい疾患で治療法が記載されていないパートもある。これはおまえらには治療は無理だから大学に送れや、ということなのだろう。

PCRをはじめとする新しい検査法の出現をもって、ぶどう膜炎の世界は明らかに別世界に移行した。古き眼科医も、新人眼科医も全部まとめて眼科医必読の書だと思う。

前田眼科クリニック院長 前田利根

B5 頁 308 2013 年

定価：本体 15,000 円＋税

[ISBN978-4-260-01738-1] 医学書院刊